

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 2 月 5 日 (2009.2.5)

【公表番号】特表 2008-539609 (P2008-539609A)

【公表日】平成 20 年 11 月 13 日 (2008.11.13)

【年通号数】公開・登録公報 2008-045

【出願番号】特願 2008-505471 (P2008-505471)

【国際特許分類】

H 0 4 W 36/18 (2009.01)

H 0 4 W 84/20 (2009.01)

H 0 4 W 36/36 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 3 1 1

H 0 4 Q 7/00 6 3 5

H 0 4 Q 7/00 3 3 1

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 10 月 30 日 (2008.10.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

メッシュネットワークにおいてチャネル・スイッチを開始する方法であって、  
メッシュポイント (M P) が第 2 チャネルにスイッチされるまでの時間間隔を表現する  
メッシュチャネル・スイッチ・タイミングエレメントを発生すること、  
前記メッシュチャネル・スイッチ・タイミングエレメントを含むメッシュチャネル・ス  
イッチ・アナンスメントを転送すること、  
前記メッシュチャネル・スイッチ・タイミングエレメントの経過で示された前記時間間  
隔後に前記第 2 チャネルにスイッチすること  
を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記メッシュチャネル・スイッチ・アナンスメントはモードの変更を指示することを特  
徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記メッシュチャネル・スイッチ・アナンスメントは帯域幅の変更を指示することを特  
徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記メッシュチャネル・スイッチ・アナンスメントはいくつかのチャネルの変更を指示  
することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記メッシュチャネル・スイッチ・アナンスメントはチャネル変更のタイミングを指示  
することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記メッシュチャネル・スイッチ・アナンスメントを送信するためにブロードキャスト  
フレームが使用されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記メッシュネットワーク内の他のMPの利用可能性に基づいて前記第2チャンネルに切り替えるかどうかを決定することをさらに含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項8】

メッシュネットワークにおいてチャンネル・スイッチを開始する方法であって、

メッシュポイント(MP)が第2チャンネルにスイッチされるまでの時間間隔を表現するメッシュチャンネル・スイッチ・タイミングエレメントを含む第1メッシュチャンネル・スイッチ・アナンスメントを受信すること、

複数のメッシュポイント(MP)へ前記メッシュチャンネル・スイッチ・アナンスメント・フレームを転送すること、

前記第1メッシュチャンネル・スイッチ・タイミングエレメントの経過で示された時間間隔後に前記第2チャンネルにスイッチすることを含むことを特徴とする方法。

【請求項9】

前記メッシュチャンネル・スイッチ・アナンスメントはチャンネルマスターのMPから受信されることを特徴とする請求項8に記載の方法。

【請求項10】

前記メッシュチャンネル・スイッチ・アナンスメントはモードの変更を指示することを特徴とする請求項8に記載の方法。

【請求項11】

前記メッシュチャンネル・スイッチ・アナンスメントは帯域幅の変更を指示することを特徴とする請求項8に記載の方法。

【請求項12】

前記メッシュチャンネル・スイッチ・アナンスメントはいくつかのチャンネルの変更を指示することを特徴とする請求項8に記載の方法。

【請求項13】

前記メッシュチャンネル・スイッチ・アナンスメントを送信するためにブロードキャストフレームが使用されることを特徴とする請求項8に記載の方法。

【請求項14】

前記メッシュチャンネル・スイッチ・アナンスメントを送信するためにユニキャストフレームが使用されることを特徴とする請求項8に記載の方法。

【請求項15】

前記メッシュネットワーク内の他のMPの利用可能性に基づいて前記第1チャンネルから前記第2チャンネルに切り替えるかどうかをMPが決定することを特徴とする請求項8に記載の方法。

【請求項16】

メッシュポイント(MP)であって、前記MPは、

メッシュポイント(MP)が第2チャンネルにスイッチされるまでの時間間隔を表現するメッシュチャンネル・スイッチ・タイミングエレメントを発生するように構成されたプロセッサと、

前記メッシュチャンネル・スイッチ・タイミングエレメントを含むメッシュチャンネル・スイッチ・アナンスメントを転送するように構成された送信機とを含み、

前記プロセッサは前記メッシュチャンネル・スイッチ・タイミングエレメントの経過で示された前記時間間隔後に前記第2チャンネルにスイッチするようにさらに構成されていることを特徴とするMP。

【請求項17】

前記メッシュチャンネル・スイッチ・アナンスメントはモードの変更を指示することを特徴とする請求項16に記載のMP。

【請求項18】

前記メッシュチャンネル・スイッチ・アナンスメントは帯域幅の変更を指示することを特徴とする請求項16に記載のMP。

**【請求項 19】**

前記メッシュチャンネル・スイッチ・アナンスメントはいくつかのチャンネルの変更を指示することを特徴とする請求項 16 に記載の M P。

**【請求項 20】**

前記メッシュチャンネル・スイッチ・アナンスメントを送信するためにブロードキャストフレームが使用されることを特徴とする請求項 16 に記載の M P。

**【請求項 21】**

前記メッシュチャンネル・スイッチ・アナンスメントを送信するためにユニキャストフレームが使用されることを特徴とする請求項 16 に記載の M P。

**【請求項 22】**

前記プロセッサが前記メッシュネットワーク内の他の M P の利用可能性に基づいて前記第 2 チャンネルに切り替えるかどうかを M P が決定するように構成されていることを特徴とする請求項 16 に記載の M P。

**【請求項 23】**

メッシュポイント ( M P ) において、前記 M P は、  
メッシュチャンネル・スイッチ・タイミングエレメントを含むメッシュチャンネル・スイッチ・アナンスメントを受信するように構成された受信機と、  
複数のピアメッシュポイント ( M P ) へメッシュチャンネル・スイッチ・アナンスメント・フレームを送信するように構成された送信機と、  
前記メッシュチャンネル・スイッチ・タイミングエレメントの経過で示された時間間隔後に前記第 2 チャンネルにスイッチするように構成されたプロセッサと  
を含むことを特徴とする M P。

**【請求項 24】**

前記メッシュチャンネル・スイッチ・アナンスメントはチャンネルマスターの M P から受信されることを特徴とする請求項 23 に記載の M P。

**【請求項 25】**

前記メッシュチャンネル・スイッチ・アナンスメントはモードの変更を指示することを特徴とする請求項 23 に記載の M P。

**【請求項 26】**

前記メッシュチャンネル・スイッチ・アナンスメントは帯域幅の変更を指示することを特徴とする請求項 23 に記載の M P。

**【請求項 27】**

前記メッシュチャンネル・スイッチ・アナンスメントはいくつかのチャンネルの変更を指示することを特徴とする請求項 23 に記載の M P。

**【請求項 28】**

前記メッシュチャンネル・スイッチ・アナンスメントを送信するためにブロードキャストフレームが使用されることを特徴とする請求項 23 に記載の M P。

**【請求項 29】**

前記メッシュチャンネル・スイッチ・アナンスメントを送信するためにユニキャストフレームが使用されることを特徴とする請求項 23 に記載の M P。

**【請求項 30】**

前記メッシュネットワーク内の他の M P の利用可能性に基づいて前記第 1 チャンネルから前記第 2 チャンネルに切り替えるかどうかを M P が決定することを特徴とする請求項 23 に記載の M P。